

(付) 調 査 票 様 式

# あなたの声をお聞かせください

～ 2020年度郡山市民意見レーダー ～



## <ご記入に当たってのお願い>

- この調査は、市内にお住いの満18歳以上の方々の中から、1,500人を無作為に選び、郵送された調査票にお答えいただく方法で実施いたします。
- この調査は無記名式で、回答は統計的に処理いたしますので、ご協力いただいた方を特定することやご迷惑をおかけすることは一切ございません。  
ぜひ、率直なご意見や考えをお知らせください。
- この調査は、個人を対象にしていますので、あなた（あて名の方）ご自身の判断でお答えください。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。また、ご回答は、「あてはまる番号を1つだけ選び○をつけてください」「あてはまる番号をいくつでも選び○をつけてください」等と質問文に対応したご記入をお願いいたします。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）をお使いのうえ、切手を貼らずに**5月29日（金）**までに、郵便ポストに投函してください。  
調査票や返信用封筒へは、お名前、具体的な住所の記入は不要です。

また、スマートフォン・パソコンからもご回答いただけます。  
右記のQRコード、又は下記の検索等でアクセスのうえご利用ください。

〔アクセス方法〕

ふくしま電子申請

検索

⇒「ふくしま電子申請」を検索



⇒「ふくしま県市町村共同電子申請システム団体選択-福島県ホームページ」  
をクリックし「郡山市」を選択 ⇒「2020年度郡山市民意見レーダー」を選択

〔入力方法〕

1. 「かんたん申請・申込システム」の画面に移行します。ひとつの画面入力が終わりましたら「次へ」をクリックしてください。
  2. 内容確認の画面が出ますので、修正がなければ「送信する」をクリックしてください。
  3. 「受け付け」の画面が出たら終了です。  
※入力による回答は、**5月29日（金）**までをお願いします。
- ※ 入力できる時間は**1時間以内**です。入力から1時間過ぎますと送信できなくなりますので、その際は改めてはじめてから入力をお願いします。

- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先> 郡山市政策開発部広聴広報課

電話：024-924-2061

Email: kocho@city.koriyama.lg.jp

## 1 郡山市の住みやすさについて

まちの住み心地や郡山市への愛着等について、どのように感じているか、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1) あなたにとって、郡山市は住みやすいまちですか？

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない	4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい
【「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」とお感じになる理由をご自由にお書きください。】	

(2) あなたは、今後も郡山市に住みたいと思いますか？

1. 現在の住所にずっと住み続けたい 2. 市内の別の地域に住みたい 3. どちらともいえない	4. いずれは市外に住みたい 5. 住みたくない
【「いずれは市外に住みたい」または「住みたくない」とお考えになる理由をご自由にお書きください。】	

## 2 郡山市のまちづくりについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、どのように感じているか、それぞれにあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

【I. 産業・仕事の未来】 (商業・工業・雇用・農林業分野)	よ い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	わ か ら な い
<b>1. 地域産業</b> 地域の中小企業の事業承継 ※1 やM&A ※2 をはじめ、産業の新陳代謝や持続的発展など活性化が図られているか <small>※1 会社等の経営を後継者に引き継ぐこと      ※2 合併・買収</small>	5	4	3	2	1
<b>2. 起業支援</b> 創業・起業がしやすい環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>3. 産業創出・企業誘致</b> 研究開発機関や大学等との連携により、再生可能エネルギー ※3 や医療機器関連産業など本市の強みを活かし、新しい分野の産業や企業の育成、誘致・集積等、産業の振興が図られているか <small>※3 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短期間に再生するエネルギー源のこと</small>	5	4	3	2	1
<b>4. 雇用・就労</b> 市内企業の安定的な雇用があり、やりがいを持って就労できる労働環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>5. 農林業</b> 農林業の生産性向上、担い手の確保等により活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>6. 特産品ブランド化</b> 食や農を生かした特産品がブランド化され、注目されているか	5	4	3	2	1
【I. 産業・仕事の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【Ⅱ. 交流・観光の未来】 (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)	よ い	どちらかとい えばよい	ど ちらかとい え ば不 満	不 満	わ か ら な い
<b>7. 都市間交流・国際交流・関係人口</b> ※1 様々な地域や国の人々との交流・活動を通じ、友好や相互理解を深める等、国内外に開かれたまちとなっているか ※1 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者	5	4	3	2	1
<b>8. 歴史・文化遺産</b> 日本遺産など豊かな歴史に根ざした地域資源が適切に保存されるとともに観光のまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>9. 音楽のまちづくり</b> 音楽に触れる機会や環境が整い、音楽がまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1
<b>10. 観光</b> 観光誘客や観光資源の活用及びコンベンション ※2 の誘致により国内、インバウンド ※3 の観光客等が増加しているか ※2 企業の展示会や学会等の学術会議、国内外の研究者が集う国際会議等 ※3 入ってくるものという意味から転じて、外国（区域外）から訪れる旅行を指す。 対義語：アウトバウンド	5	4	3	2	1
<b>11. シティプロモーション</b> ※4 本市の魅力が広く内外に発信され、知名度が向上し、交流人口増加や移住・定住の促進が図られているか ※4 地域のイメージを高め、知名度の向上や地域への愛着を醸成する手法	5	4	3	2	1
【Ⅱ. 交流・観光の未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】 (子育て・教育・地域学習分野)	よ い	どちらかとい えばよい	ど ちらかとい え ば不 満	不 満	わ か ら な い
<b>12. 子育て</b> 安心して生み育てる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>13. 乳幼児教育・家庭教育</b> 家庭、地域、企業そして子育て・教育機関が連携して、子育てや教育を学びあう環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>14. 青少年健全育成</b> 子どもたちの安全な居場所や地域での見守りなど、健全に育つ環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>15. 学校教育</b> 子どもたちの「生きる力」となる思考力、判断力、表現力等を育み、これからの時代に求められる英語やICT ※1 教育などの資質・能力を身につけられる質の高い教育環境が整っているか ※1 情報通信技術	5	4	3	2	1
<b>16. 地域学習</b> 子どもたちの地域への愛着を育む、地域活動への参加機会や地域の産業、生活、文化、歴史などを学ぶ環境が充実しているか	5	4	3	2	1
【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

<b>【IV. 誰もが地域で輝く未来】            (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)</b>	よ い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え	不 満	わ か ら な い
<b>17. 市民協働</b> ※1 市民誰もが、知識や経験、個性に応じ、様々な社会参加ができる機会や場があるか ※1 市民・市民活動団体・企業・行政等が、お互いの立場や特性、目的を認め合い、役割を分担した上で対等の立場で協力し合うこと	5	4	3	2	1
<b>18. 地域コミュニティ</b> 町内会活動など地域コミュニティの活性化が図られているか	5	4	3	2	1
<b>19. 広聴広報</b> 市政に関する情報の公開や市民からの意見・提案の募集、市民参加のイベントなど市政への市民参画が図られているか	5	4	3	2	1
<b>20. スポーツ・文化・芸術</b> 多様なスポーツ、文化・芸術に触れる機会や活動する場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>21. 生涯学習</b> 生涯を通じて、好きなこと、得意なことを学習でき、それらを地域社会で生かせる機会や場などの環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>22. 地域福祉</b> 地域や隣近所で互いに支えあい、助け合う体制が整っているか	5	4	3	2	1
<b>23. 高齢者福祉</b> 介護予防対策や介護サービスの充実、質の確保・向上など高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>24. 障がい者福祉</b> 障がい者差別の解消や就労等社会参加の促進など障がい者の生活を支える環境が整っているか	5	4	3	2	1
<b>25. 健康づくり</b> 生活習慣病予防対策、健診体制や健康相談等、健康に暮らすための支援体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>26. 医療</b> 必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制が充実しているか	5	4	3	2	1
<b>27. 男女共同参画</b> 家庭や地域、職場において、男女が共に個性と能力を発揮できているか	5	4	3	2	1
【IV. 誰もが地域で輝く未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【V. 暮らしやすいまちの未来】 (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)	よ い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え	不 満	わ か ら な い
28. 環境活動 温室効果ガス排出量の削減に向けた普及啓発等、環境負荷が少ないまちづくりへの取り組みが進んでいるか	5	4	3	2	1
29. 3R ※1 (資源の有効利用) ごみ減量、リサイクルの推進等、ごみの発生を抑え、資源を有効に循環させる取り組みが進んでいるか ※1 「Reduce (発生抑制)」「Reuse (再使用)」「Recycle (再生利用)」の頭文字をとった言葉	5	4	3	2	1
30. エネルギー 省エネルギーの推進や環境にやさしい再生可能エネルギー ※2 の普及に向けた取り組みが進んでいるか ※2 石油・石炭などの限りがある化石燃料に対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など一度利用しても比較的短時間に再生するエネルギー源のこと	5	4	3	2	1
31. 自然環境 豊かな自然が適正に保全され、それらと身近にふれあえる環境が整っているか	5	4	3	2	1
32. 防災 ライフラインの確保や情報の共有化、消防、救急体制の整備、自然災害対策等、防災に対する備えができていますか	5	4	3	2	1
33. 防犯・交通安全・消費者対策 犯罪の未然防止、通学路や生活道路等の交通安全対策、消費者対策により、安心して生活することができていますか	5	4	3	2	1
34. ユニバーサルデザイン ※3 障がいの有無や年齢等に関わらず、誰もが快適に暮らすことができる取り組みが進んでいるか ※3 障がいの有無や年齢、国籍、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人を使いやすい製品や建物、都市環境、サービス等の提供を目指そうという考え方のこと	5	4	3	2	1
35. 交通・道路 生活に必要な拠点や施設へのアクセスが容易であるなど、利便性の高い交通体系が整っているか	5	4	3	2	1
36. 計画的な都市づくり 「こおりやま広域圏」の玄関口として、中心市街地の活性化や地域特性を生かした魅力的なまちとなっているか	5	4	3	2	1
37. 住環境 公園や生活道路、上下水道等が整備されているとともに、景観への配慮等、住環境が整っているか	5	4	3	2	1
【V. 暮らしやすいまちの未来】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【横断的取組】 (復興・創生の更なる推進)	よ い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え	不 満	わ か ら な い
<b>38. 除去土壌等の搬出</b> 除染により生じた除去土壌等の搬出が進んでいるか	5	4	3	2	1
<b>39. 健康管理</b> 内部被ばく検査や自家消費野菜等の放射能検査、心や体のケアに関する健康相談体制の充実等、健康管理が図られているか	5	4	3	2	1
<b>40. 風評の払しょく</b> 郡山製品の安全性のPR、販路の拡大及び観光誘客等により、風評の払しょくが図られているか	5	4	3	2	1
【横断的取組】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

【基盤的取組】 (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs)	よ い	ど ち ら か と い え	ど ち ら か と い え	不 満	わ か ら な い
<b>41. 行政経営</b> ICT ※1 の積極的な活用、官民連携による様々な手法やノウハウの柔軟な導入など先進的で効率的な行政経営の改善が図られているか ※1 情報通信技術	5	4	3	2	1
<b>42. セーフコミュニティ ※2</b> 安全・安心なまちづくりのため、地域全体でセーフコミュニティ活動を推進しているか ※2 WHO（世界保健機関）が推奨する国際認証制度で「けがや事故」をデータから客観的に分析し、地域住民や団体、行政等による連携・協働により「けがや事故」の予防に取り組んでいる地域のこと	5	4	3	2	1
<b>43. 連携中枢都市圏構想 ※3</b> 「連携中枢都市圏」の推進により、圏域全体の経済活性化や広域的な課題解決が図られているか ※3 一定要件を満たす連携中枢都市と近隣市町村との連携協約により圏域の活性化を図る構想	5	4	3	2	1
<b>44. SDGs ※4</b> 2015年に国連で採択された、2016年から2030年までの国際的な「持続可能な開発目標」であるSDGsの取り組みが進んでいるか ※4 SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を集めた言葉で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。	5	4	3	2	1
【基盤的取組】について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。					

### 3 郡山市のこれからの取組について

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、特に重要と思われるものの番号を1～44から5つ選び、その番号に○印をつけてください。

<p><b>【Ⅰ. 産業・仕事の未来】</b> (商業・工業・雇用・農林業分野)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域産業</li><li>2. 起業支援</li><li>3. 産業創出・企業誘致</li><li>4. 雇用・就労</li><li>5. 農林業</li><li>6. 特産品ブランド化</li></ol> <p><b>【Ⅱ. 交流・観光の未来】</b> (交流・文化・観光・シティプロモーション分野)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>7. 都市間交流・国際交流・関係人口</li><li>8. 歴史・文化遺産</li><li>9. 音楽のまちづくり</li><li>10. 観光</li><li>11. シティプロモーション</li></ol> <p><b>【Ⅲ. 学び育む子どもたちの未来】</b> (子育て・教育・地域学習分野)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>12. 子育て</li><li>13. 乳幼児教育・家庭教育</li><li>14. 青少年健全育成</li><li>15. 学校教育</li><li>16. 地域学習</li></ol> <p><b>【Ⅳ. 誰もが地域で輝く未来】</b> (市民協働・生涯学習・保健福祉・男女共同参画分野)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>17. 市民協働</li><li>18. 地域コミュニティ</li><li>19. 広聴広報</li><li>20. スポーツ・文化・芸術</li><li>21. 生涯学習</li><li>22. 地域福祉</li><li>23. 高齢者福祉</li><li>24. 障がい者福祉</li><li>25. 健康づくり</li><li>26. 医療</li><li>27. 男女共同参画</li></ol>	<p><b>【Ⅴ. 暮らしやすいまちの未来】</b> (環境・防災・市民安全・生活インフラ分野)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>28. 環境活動</li><li>29. 3R(資源の有効利用)</li><li>30. エネルギー</li><li>31. 自然環境</li><li>32. 防災</li><li>33. 防犯・交通安全・消費者対策</li><li>34. ユニバーサルデザイン</li><li>35. 交通・道路</li><li>36. 計画的な都市づくり</li><li>37. 住環境</li></ol> <p><b>【横断的取組】</b> (復興・創生の更なる推進)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>38. 除去土壌等の搬出</li><li>39. 健康管理</li><li>40. 風評の払しょく</li></ol> <p><b>【基盤的取組】</b> (行政経営・セーフコミュニティ・連携中枢都市圏・SDGs)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>41. 行政経営</li><li>42. セーフコミュニティ</li><li>43. 連携中枢都市圏構想</li><li>44. SDGs</li></ol>
---	--



#### 4 令和元年東日本台風について

近年発生している自然災害は、気候変動に起因した大規模なものとなる傾向があり、昨年10月に発生した『令和元年東日本台風』においても、これまでの想定をはるかに超える甚大な被害を本市も受けました。

現在、これら被害からの速やかな復旧・復興など、災害対応に全力を尽くしていますが、今後のさらなる防災力の向上に向け、以下の項目について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 今後発生する自然災害についてどのように感じていますか？  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

1. かなり不安である
2. 多少の不安を感じている
3. あまり不安は感じていない
4. 不安ではない

- (2) 警戒レベル ※1 を用いた情報発信をご存知ですか？  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

※1 国の『避難勧告等に関するガイドライン』の改定（平成31年3月改定）により、市町村が発令する避難勧告等については、住民がとるべき避難行動を示す『警戒レベル』を用いた情報発信を実施しています。

- 警戒レベル3：避難準備・高齢者等避難開始（⇒高齢者等は避難を開始）
- 警戒レベル4：避難勧告、避難指示（緊急）（⇒全員避難を開始）
- 警戒レベル5：災害発生情報（⇒命を守る最善の行動を）

1. 言葉の意味を知っており、警戒レベルごと取るべき避難行動の意味も理解している
2. 言葉は知っていたが、警戒レベルごと取るべき避難行動の意味までは理解していない
3. 言葉を全く知らなかった。聞いたことがない

- (3) もし、あなたの身近で災害が発生した際に、どのような方や組織等からの協力が最も有効的だと思いますか？  
最も有効的だと思う番号を1つ選び、○印をつけてください。

1. 家族	8. 消防団
2. 同居以外の家族や親せき	9. 民生委員
3. 隣近所の人	10. 町内会・自主防災組織
4. 職場の人	11. 行政（市職員など）
5. 自衛隊	12. 医療福祉関係者
6. 警察	13. その他
7. 消防	( )

- (4) 災害への備えとしては、日頃から「自らの命を自らが守る」といった自身での準備や防災意識を持つことが大切です。  
例えば、くもしもの時はどこに避難する？ 避難場所まで行ける？>等を確認するために、家族で休日にピクニック気分を楽しみながら行う『防災さんぽ』等の取り組みもあります。  
あなたは、「自らの命を自らが守る」ためにはどのようなことが重要だと思いますか？ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

--

## 5 新型コロナウイルス感染症について

郡山市ではこれまで、感染症に関する相談対応や市ウェブサイトでの情報提供などを行ってまいりました。現在も市民の皆さまに、よりの確に情報提供ができるよう、分かりやすい情報提供に努めているところです。

今後も、状況が変化していくことが予想されますが、3つの条件が同時に重なる場所を避けること、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底など、分かりやすい情報提供を進めてまいります。

以下の項目について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 新型コロナウイルス感染症についてどのように感じていますか？  
あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- |                  |
|------------------|
| 1. かなり不安である      |
| 2. どちらかといえば不安である |
| 3. あまり不安ではない     |
| 4. まったく不安はない     |

- (2) 新型コロナウイルスに関する情報をどのような方法で取得していますか？  
特に情報を取得する際に利用しているものの番号を1～11から3つ選び、○印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. テレビ                                  |
| 2. ラジオ                                  |
| 3. 新聞                                   |
| 4. 雑誌                                   |
| 5. 市ウェブサイト                              |
| 6. 広報こおりやま                              |
| 7. ソーシャルメディア (Facebook、LINE、Twitter など) |
| 8. インターネット                              |
| 9. 家族・知人                                |
| 10. 入手していない                             |
| 11. その他 ( )                             |

- (3) あなたは、どのような新型コロナウイルスの感染症対策を行っていますか？  
あてはまる番号を全て選び、○印をつけてください。

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 手洗いやアルコール消毒       | 7. 不要不急の外出は控える   |
| 2. 咳エチケット ※1 ・マスクの着用 | 8. 3密を避ける行動 ※2   |
| 3. うがい               | 9. しっかりと睡眠をとる    |
| 4. 定期的な体温の測定         | 10. テレワークを実施している |
| 5. 屋内の換気             | 11. その他          |
| 6. よく触れるものの消毒や洗浄     | ( )              |

※1 他人に感染させないために、個人が咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえること

※2 「換気の悪い密室空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」を避けること

- (4) 新型コロナウイルス感染症について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

--

## 6 あなたご自身について

あなたご自身のことについてお伺いします。

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまる番号に○印をつけてください。

(1) 性別 (あてはまる番号1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(2) 年齢 (あてはまる番号1つに○)

1. 18歳～19歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	6. 60歳～69歳
3. 30歳～39歳	7. 70歳以上
4. 40歳～49歳	

(3) 職業 (あてはまる番号1つに○)

1. 農業	5. 主婦・主夫
2. 給与所得者	6. 学生
3. 自営業者	7. 無職
4. パート・アルバイトなど	8. その他

(4) 郡山市での居住年数 (あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満	4. 10～19年
2. 3年未満	5. 20～29年
3. 3～9年	6. 30年以上

(5) 居住形態 (あてはまる番号1つに○)

1. 持ち家	4. 社宅、公舎など
2. 民間の借家・アパート	5. 間借、同居、寮など
3. 公営住宅	

(6) 現住所の直前に住んでいたところ (あてはまる番号1つに○)

1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる	4. 東京圏 ※1
2. 郡山市内の別の地域	5. その他 ※2 ( )
3. 郡山市外で福島県内	

※1 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 ※2 福島県、東京圏以外の居住地

(7) 上の質問(6)で、「2.～5.」に○を付けた方にお聞きします。

移転先として現住所を選んだ理由は何ですか? (あてはまる番号全てに○)

1. 生まれ育った場所だから	11. 病院・医院が近くにあるから
2. 自分や家族の持ち家だから	12. 住まいの周辺が静かだから
3. 寮や社宅に住むから	13. 自然環境が身近にあるから
4. 親や子、親族、友人などがいるから	14. まちなみや景観がよいから
5. 家賃や住宅の価格が手ごろだから	15. 賑わいや活気があるから
6. 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	16. 犯罪が少ないと感じているから
7. 日ごろの買い物などが便利だから	17. 街のイメージがよいから
8. 保育所・公園等の子育て環境がよいから	18. 郡山が好きだから
9. 学校などの教育環境がよいから	19. 市民の気質や感性が自分と合うから
10. 文化・スポーツ施設などが近くにあるから	20. その他 ( )

(8) お住まいの地域 (あてはまる番号1つに○)

1. 旧郡山東部 (芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など)
2. 旧郡山西部 (駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外)
3. 富田
4. 大槻
5. 安積
6. 三穂田
7. 逢瀬
8. 片平
9. 喜久田
10. 日和田
11. 富久山
12. 湖南
13. 熱海
14. 田村
15. 西田
16. 中田

◆市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。◆

---

---

---

---

---

---

---

以上で、質問は終わりです。皆様方からいただきました貴重なご回答・ご意見等は、郡山市の今後の市政運営に反映させていきたいと考えております。

**お忙しいところご協力をいただき感謝申し上げます。**

※ お手数ですが、ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)をお使いのうえ、切手を貼らずに5月29日(金)までに、郵便ポストに投函してください。

調査票や返信用封筒へは、お名前、具体的な住所の記入は不要です。